

# 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

H30年度

遊学館「つ・な・ぐー」

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善に向けて
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員会議及びクラス会議を通して、どのように改善していくのか方向を出し、取り組んでいく
	⑤	保護者等に向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか			○	今回の評価を向けて、改善に取り組んでいく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今年からホームページを活用して公開する
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		必要な情報を幅広く学べる機会を、多く設けていく
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		客観的に分析した上での計画作成に向け、まずは、現状把握の為、取り巻く環境の情報収集をしていく
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	療育プログラム作成の為に検査結果などで情報を得ていき、クラス会議を定着化していく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		子どもの興味あるものを提供していく為、子どもの得意・不得意を理解していく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか		○		子どもに合った支援方法を考えていく為に、クラス会議を通して、子どもの様子の捉えを話していく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		子どもの得意・不得意を理解し、支援の内容を検討していく

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		打ち合わせで具体的に話している、大事なポイントをホワイトボードに記載していく
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		時間を確保していけるように工夫はしているが、気付いた点について共有をする事を、継続して行う
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		記載の仕方を具体化していけるようにしていく（Ex～どのような様子で、どう展開したか等） 連動性のある項目で記録をとる
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		年間を通して、回数・時間の確保の計画を立てていく
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		職員会議でガイドラインを確認し、会議で支援内容に組み込んでいく
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要なケースは時期をのがさずに連絡をとり、状況を把握する
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの視線内容等の情報を提供する等しているか			○	今までは対象になるお子さんがいない現状 今後は保護者のニーズに合わせて情報を提供していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		発達支援センター主催の研修会には今後も積極的に参加をしていく
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	子どものほとんどが学校で通常級と過ごしているため、ニーズは低いと思われる
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか		○		年間を通じて定期的に話し合う機会を計画する
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談で保護者のニーズを確認させて頂き、支援内容を共に考える
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		関心に合わせていきながら、より具体的に説明を行う
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		面談の時間の確保、具体的なアドバイスを意識したいと思う（お子さんの学校・家の情報を確認していく）
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				父母会は、運営していない
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		変更や体制を変えた時には、細かい事でも掲示するようにする
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		ホームページを継続していくと共に福祉サービス等の変更があればわかりやすく提示していく
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		保護者やお子さんのニーズを考えられるように職員研修を設け、聞き取る力を高めていく努力をする
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルを基に行ったことについて、周知する
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するよう等、適切な対応をしているか	○			虐待に関する知識を常に身に付けていく努力をしていく
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			

	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
--	---	----------------------------	---	--	--	--